

平成 2 6 年度事業計画（案）

自 平成 2 6 年 4 月 1 日

至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

平成26年度 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 事業計画（案）

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産への早期登録を実現することにより、古墳群の保存継承や歴史と文化を活かしたまちづくりの推進、都市魅力の一層の向上を図るため、大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市及び関係団体が一体となって、平成29年度の登録実現（平成27年度の国内推薦）に向けた課題を整理し、ユネスコ世界遺産センターへ提出する登録推薦書（案）等を作成するとともに、広域的な情報発信や機運の醸成に取り組む。

1 推進体制の整備（総合調整）

H26 予算額 2,229 千円

関係地方公共団体からなる推進本部会議において、世界文化遺産登録に向けた方針や事業執行について協議・決定するとともに、有識者会議や民間会議を運営する。

(1) 推進本部会議等の運営

H26 予算額 2,229 千円

① 推進本部会議・幹事会・部会及び事務局の運営

推進本部会議の決算及び予算、事業計画を審議・決定するため、推進本部会議及び幹事会を開催する。また、学術検討・条件整備部会と魅力創出・情報発信部会を開催するとともに、効率的かつ効果的な事務局運営を行う。

② 有識者会議の運営

考古学・古代史、景観等の専門家による有識者会議を開催し、百舌鳥・古市古墳群の登録に向けた専門的・学術的な課題を整理・検討する。

③ 民間会議の運営

商工、観光団体、交通事業者、有識者からなる民間会議を開催し、登録後を見据えた地域の魅力づくり等について検討するとともに、構成団体との連携による情報発信・魅力創出事業を展開する。

2 学術検討・条件整備

H26 予算額 9,718 千円

平成27年度の国内推薦資産の選定に向けて、国や関係機関等と課題解決策について協議し、国からユネスコに提出する推薦書及び包括的保存管理計画の原案を作成していくとともに、推薦に必要な調査・研究等事業を行う。

(1) 登録推薦書作成検討委員会の開催

H26 予算額 322 千円

資産の価値、保存管理及び近年の推薦書審査の傾向を熟知している文化遺産、都市計画、考古学の専門家からなる委員会を開催し、地元自治体や国等とともに、推薦書等の具体的な記述内容について、学術的・専門的な立場から検討を加えるとともに、必要に応じて助言を得ながら、国際的に通用する内容の推薦書を作成する。

(2) 国際専門家会議の開催（国際シンポジウムと同時開催予定）

H26 予算額 3,617 千円

百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値や資産の保護・管理等について、国際的な視野から国内外の世界遺産・考古学等の専門家による意見交換を実施し、その内容を推薦書及び資産の包括的保存管理計画の作成に活かす。

(3) 推薦書及び包括的保存管理計画に係る資料作成

H26 予算額 5,000 千円

ユネスコ世界遺産センターへ提出する推薦書等に必要となる図面等を作成する。

(4) 日本イコモス国内委員との意見交換 H26 予算額 194 千円
顕著な普遍的価値の証明や資産の保護、管理、緩衝地帯のあり方等、推薦書作成に向けた課題整理を行うため、イコモス国内委員と意見交換を行う。

(5) 文化庁・宮内庁との協議・調整 H26 予算額 585 千円
より熟度の高い推薦書及び包括的保存管理計画の作成に資するため、文化庁・宮内庁と課題解決に向けた協議を行うとともに、連携して関連資料等の作成を行う。

(6) 緩衝地帯の設定にかかる調整・手続き
緩衝地帯の設定に向けた、審議会等手続きや住民説明会などを各市で実施するにあたっての調整を行う。

3 魅力創出・情報発信 H26 予算額 4,713 千円

世界文化遺産登録の実現には、地元はもちろん国民レベルでの理解と応援が重要であることから、百舌鳥・古市古墳群に関する認知度の向上や登録機運の醸成に向けて、民間等とも連携した国内外への情報発信の取組みを行う。

(1) 国際シンポジウムの開催(国際専門家会議と同時開催予定) H26 予算額 1,100 千円
百舌鳥・古市古墳群の価値と保存・継承の重要性について、地元住民や府民、国民に理解を深めていただき、保全等に関して具体的な活動を行ってもらえるよう、国内外の専門家による講演や議論を行うシンポジウムを開催する。

(2) ホームページの運営 H26 予算額 1,355 千円
登録に向けた統一的なメッセージや、資産や地域に関する魅力的な情報を全国及び海外に発信することで、幅広い層への認知度と興味の向上など機運醸成を図るため、推進本部会議ホームページ(日本語版・英語版)を運営・更新する。

(3) 情報発信プロモーションの展開 H26 予算額 2,258 千円
地元住民や民間団体等の理解と協力を得るためのPRを行うとともに、登録後における資産やまちの魅力づくりに向けた民間団体等の取組みを促進するための事業を実施する。また、地元はもちろん関西・全国への幅広い地域と層への情報発信を行うなど、民間等と連携して、様々なツールを活用したターゲットに沿ったプロモーションを展開する。

① 各種情報発信ツールの作成(増刷)及び活用
ウォーキング・マップやポスター、リーフレットなどの既存の情報発信ツールについて、交通各社、商業施設、観光事業者等の協力を得ながら、様々な場所やイベント等で配布・配架を行う。

② 各種イベント等を活用したPR
市民説明会やシンポジウム、大規模集客イベント等を活用して、百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力、世界遺産の取り組み、古墳のある地域の魅力などを伝えるためのPRを行う。

- ③ 登録後を見すえた資産と地域の魅力づくり
百舌鳥・古市古墳群に興味のない人や訪れたことのない人へのアプローチを行っていくため、民間と連携しながら、古墳群や地域の魅力の発見、創造につながる事業を行う。

- ④ 全国的な認知度向上に向けた情報発信
全国への情報発信機能をもつ広報・報道や各種事業者に対し、百舌鳥・古市古墳群の魅力やその世界文化遺産登録の取組みに関する記事や写真を提供し、幅広い層への情報発信を行う。